

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-180711

(P2007-180711A)

(43) 公開日 平成19年7月12日(2007.7.12)

(51) Int.C1.	F 1	テーマコード (参考)
HO4N 5/91 (2006.01)	HO4N 5/91	Z 5C052
HO4N 5/76 (2006.01)	HO4N 5/76	B 5C053
HO4N 5/92 (2006.01)	HO4N 5/92	C 5D110
G11B 27/00 (2006.01)	G11B 27/00	D

審査請求 未請求 請求項の数 14 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2005-374600 (P2005-374600)	(71) 出願人	000003078
(22) 出願日	平成17年12月27日 (2005.12.27)		株式会社東芝 東京都港区芝浦一丁目1番1号
		(74) 代理人	100058479 弁理士 鈴江 武彦
		(74) 代理人	100091351 弁理士 河野 哲
		(74) 代理人	100088683 弁理士 中村 誠
		(74) 代理人	100108855 弁理士 蔵田 昌俊
		(74) 代理人	100075672 弁理士 峰 隆司
		(74) 代理人	100109830 弁理士 福原 淑弘

最終頁に続く

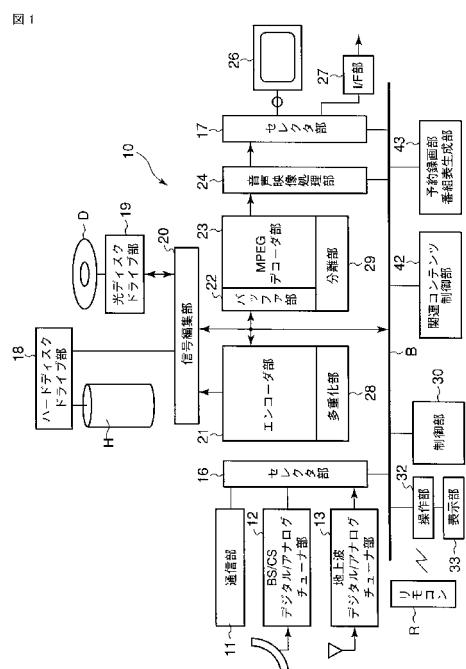
(54) 【発明の名称】放送記録装置及び放送記録方法

(57) 【要約】

【課題】再生しようとするコンテンツの関連コンテンツの記録状態・視聴状態等を自動的にリスト表示することで、最適の再生処理を可能とする放送記録装置を提供する。

【解決手段】放送信号を受信しこれを復調して複数の放送コンテンツを出力するチューナ部と、チューナ部からの複数の放送コンテンツを記録する記録部と、記録部が記録した複数の放送コンテンツの管理情報をリスト表示(図2)をするための表示信号を出し、複数の放送コンテンツ内の一つの再生を指示する操作信号を受けると、記録されている複数の放送コンテンツから、再生指示された放送コンテンツに関連する複数の放送コンテンツの管理情報を時系列的にリスト表示をするための表示信号を出力するべく制御する制御部とを有する放送記録装置。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

放送信号を受信しこれを復調して複数の放送コンテンツを出力するチューナ部と、

前記チューナ部からの前記複数の放送コンテンツを記録する記録部と、

前記記録部が記録した前記複数の放送コンテンツの管理情報をリスト表示をするための表示信号を出力し、前記複数の放送コンテンツの内の一つの再生を指示する操作信号を受けると、前記記録されている複数の放送コンテンツから、前記再生指示された放送コンテンツに関連する複数の放送コンテンツの管理情報を時系列的にリスト表示をするための表示信号を出力するべく制御する制御部と、を具備することを特徴とする放送記録装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記再生を指示されたコンテンツが、特定の放送ジャンルのコンテンツであることを識別した場合に限り、前記再生指示された放送コンテンツに関連する複数の放送コンテンツの管理情報を時系列的にリスト表示をするための表示信号を出力することを特徴とする請求項 1 記載の放送記録装置。

【請求項 3】

前記特定の放送ジャンルとはドラマであることを特徴とする請求項 2 記載の放送記録装置。

【請求項 4】

前記特定の放送ジャンルを操作信号に応じて決定することができることを特徴とする請求項 2 記載の放送記録装置。

【請求項 5】

前記制御部は、前記再生指示された放送コンテンツと、タイトル、録画曜日、録画時間、録画チャンネルがそれぞれ共通している場合、前記関連コンテンツであると判断することを特徴とする請求項 1 記載の放送記録装置。

【請求項 6】

前記制御部は、前記再生指示された放送コンテンツに関連する複数の放送コンテンツの内の未再生のものを記録順に連続して再生するべく制御することを特徴とする請求項 1 記載の放送記録装置。

【請求項 7】

前記制御部は、前記再生指示された放送コンテンツに関連する複数の放送コンテンツを自動的に削除から保護するべく制御することを特徴とする請求項 1 記載の放送記録装置。

【請求項 8】

前記放送記録装置はディスプレイと記録再生機能とを備えたテレビジョン装置であることを特徴とする請求項 1 記載の放送記録装置。

【請求項 9】

放送信号を復調して得た放送コンテンツを記録し、

前記記録した前記複数の放送コンテンツの管理情報をリスト表示をするための表示信号を出力し、

前記複数の放送コンテンツの内の一つの再生を指示する操作信号を受けると、前記記録されている複数の放送コンテンツから、前記再生指示された放送コンテンツに関連する複数の放送コンテンツの管理情報を時系列的にリスト表示をするための表示信号を出力することを特徴とする放送記録方法。

【請求項 10】

前記再生を指示されたコンテンツが、特定の放送ジャンルのコンテンツであることを識別した場合に限り、前記再生指示された放送コンテンツに関連する複数の放送コンテンツの管理情報を時系列的にリスト表示をするための表示信号を出力することを特徴とする請求項 9 記載の放送記録方法。

【請求項 11】

前記特定の放送ジャンルとはドラマであることを特徴とする請求項 10 記載の放送記録方法。

10

20

30

40

50

【請求項 1 2】

前記特定の放送ジャンルを操作信号に応じて決定することができることを特徴とする請求項 1 0 記載の放送記録方法。

【請求項 1 3】

前記再生指示された放送コンテンツと、タイトル、録画曜日、録画時間、録画チャンネルがそれぞれ共通している場合、前記関連コンテンツであると判断することを特徴とする請求項 9 記載の放送記録方法。

【請求項 1 4】

前記再生指示された放送コンテンツに関連する複数の放送コンテンツの内の未再生のものを記録順に連続して再生すべく制御することを特徴とする請求項 9 記載の放送記録方法

10

。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0 0 0 1】**

この発明は、放送コンテンツを記録する放送記録装置に関し、特に、関連のある複数の放送コンテンツをリスト表示する放送記録装置及び放送記録方法に関する。

【背景技術】**【0 0 0 2】**

最近、デジタル機器の普及と共にハードディスクレコーダ等の放送受信装置が一般化しつつあり、従来の VTR (Video Tape Recorder) による記録再生処理の場合よりも、多くの映像情報を容易に記録・再生することが可能となってきた。このような放送受信装置においては、簡易な操作によって予約録画等が可能となるため、膨大な放送コンテンツが記憶領域に記憶することができる。この結果、ユーザが録画した放送コンテンツを十二分に把握できていないという状況も発生しうる。

【0 0 0 3】

特許文献 1 には、このような状況に対して、例えば、特定の番組を再生する際に、その番組の前回の番組が再生されていない場合、『先週の連続番組がまだ未再生ですがどちらを再生しますか』と問うことにより、未再生の番組を残さずに視聴することができる記録装置を提供している。

【特許文献 1】特開 2003-319308 公報

30

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0 0 0 4】**

しかし、特許文献 1 の装置においては、先週の未再生の番組が存在するかどうかはわかったとしても、その連続番組全体がどれだけ記録されているかや、どれだけ再生したか等の情報を得ることが容易にはできないという問題がある。

【0 0 0 5】

そこで、この発明は、再生しようとするコンテンツの関連コンテンツの記録状態・視聴状態等を自動的にリスト表示することで、最適の再生処理を可能とする放送記録装置を提供することを目的とする。

40

【課題を解決するための手段】**【0 0 0 6】**

この発明に係る放送記録装置は、放送信号を受信しこれを復調して複数の放送コンテンツを出力するチューナ部と、前記チューナ部からの前記複数の放送コンテンツを記録する記録部と、前記記録部が記録した前記複数の放送コンテンツの管理情報をリスト表示をするための表示信号を出力し、前記複数の放送コンテンツの内の一つの再生を指示する操作信号を受けると、前記記録されている複数の放送コンテンツから、前記再生指示された放送コンテンツに関連する複数の放送コンテンツの管理情報を時系列的にリスト表示をするための表示信号を出力するべく制御する制御部とを具備することを特徴とする放送記録装置である。

50

【発明の効果】**【0007】**

ユーザが再生しようとするコンテンツに関連するコンテンツが自動的にリスト表示されるため、保有するコンテンツの状況を非常に容易に知ることができ、例えば、第3回、第4回の未視聴ドラマを見る前に第5回のドラマを見てしまうということを確実に回避する。

【発明を実施するための最良の形態】**【0008】**

以下、この発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

すなわち、図1は、本発明の一実施形態に係る放送記録装置の構成の一例を示すプロック図、図2は、同じく放送記録装置が保有している放送コンテンツのリスト表示の一例を示す説明図、図3は、同じく放送記録装置が保有している放送コンテンツのリスト表示の一例を示す説明図、図4は、同じく放送記録装置が保有している放送コンテンツのリスト表示の一例を示す説明図、図5は、同じく放送記録装置が保有している放送コンテンツのリスト表示の一例を示す説明図、図6は、同じく放送記録装置が行なうリスト表示処理の一例を示すフローチャート、図7は、同じく放送記録装置が行なうリスト表示処理（保護フラグ）の一例を示すフローチャート、図8は、同じく放送記録装置を操作するためのリモコン装置の一例を示す説明図である。

【0009】

<本発明の一実施形態に係る放送記録装置>

10

（構成）

初めに、図1の放送記録装置10は、一例として、チューナ等をソースとして記録機能を有するデジタルテレビジョンである。しかしながら、チューナ等と記録機能とをもったハードディスクレコーダも同様に好適である。

【0010】

従って、以下の図1を用いた実施形態の説明においては、記録機能をもったデジタルテレビジョンとして詳細に説明を行なうが、図1からディスプレイ26を分離することで、全く同様の機能をもったハードディスクレコーダとしての説明と解釈することが可能である。

【0011】

20

図1において、デジタルテレビジョンである放送記録装置10は、2種類のディスクドライブを有する。第1のメディアとしてハードディスクHを駆動するハードディスクドライブ部19と、第2のメディアとしてビデオファイルを構築できる情報記録媒体であるの光ディスクDを回転駆動し、情報の読み書きを実行する光ディスクドライブ部19を有している。又、制御部30は、全体の動作を司るべくデータバスBを介して各部に接続されている。しかし、本発明を実施する場合において、光ディスクドライブ部19は必ずしも必要な構成ではない。

【0012】

又、図1の放送記録装置10は、録画側を構成するエンコーダ部21と、再生側を構成するMPEGデコーダ部23と、装置本体の動作を制御する制御部30とを主たる構成要素としている。放送記録装置10は、入力側のセレクタ16と出力側のセレクタ17とを有しており、入力側のセレクタ16には、LAN等の通信部11と、いわゆる衛星放送（BS/CS）デジタル/アナログチューナ部12と、いわゆる地上波デジタル/アナログチューナ部13とが接続され、エンコーダ部21に信号を出力する。又、BS/CSデジタル/アナログチューナ部12には衛星アンテナが、地上波デジタル/アナログチューナ部13には地上波アンテナが接続されている。又、放送記録装置10は、エンコーダ部21と、エンコーダ部21の出力を受け、データ編集等の所望のデータ処理を行う信号編集部20、信号編集部20に接続されるハードディスクドライブ部18、光ディスクドライブ部19を有している。更に、放送記録装置10は、ハードディスクドライブ部18、光ディスクドライブ部19からの信号を受けてデコードするMPEGデコーダ部23と、エ

40

50

ンコーダ部21、バッファ部22、MPEGデコーダ部23、多重化部28、分離部29、制御部30、関連コンテンツ制御部42、予約録画部・番組表生成部43を有している。これらの各部は、データバスBを介して制御部30に接続されている。更に、セレクタ部17の出力は、ディスプレイ26に供給されるか、外部装置との通信を行うインターフェース部27を介して、外部装置に供給される。

【0013】

更に、放送記録装置10は、データバスBを介して制御部30に接続され、ユーザの操作やリモコンRの操作を受ける操作部32を有している。ここで、リモコンRは、放送記録装置10の本体に設けられる操作部32とほぼ同等の操作を可能とするものであり、ハードディスクドライブ部18や光ディスクドライブ部19の記録再生指示や、編集指示、又、チューナの操作、予約録画の設定等、各種設定が可能である。10

【0014】

(基本動作)

- ・放送コンテンツ再生

このような構成のデジタルテレビジョンである放送記録装置10において、ユーザのリモコンR又は操作部32の操作に応じた操作信号に従って、制御部30等の制御下において、放送信号を受信しBS/CSチューナ12又は地上波デジタル/アナログチューナ部13からの放送コンテンツをディスプレイ26に表示する。

【0015】

- ・記録処理

次に、記録時の動作について、他の実施形態も含めて詳細に説明する。放送記録装置10の入力側として、LAN等の通信部11は、外部機器と接続して、例えばモ뎀M等を介しインターネット等の通信路を経由して番組情報提供サーバS等と通信を行ったり、放送コンテンツ等をダウンロードしたりする。又、BS/CSデジタル/アナログチューナ部12、地上波デジタル/アナログチューナ部13は、アンテナを介して放送信号を選局し復調して映像信号及び音声信号を入力するもので、広範な種類の放送信号に対応する。例えば、地上波アナログ放送、地上波デジタル放送、BSアナログ放送、BSデジタル放送、CSデジタル放送等に及ぶものであり、これに限るものではない。又、必ずしも一つだけを設けるものではなく、例えば、地上波放送のチューナ部や、BS/CSチューナ部を2つ又は3つ以上を有し、予約録画の要求に応じて平行して機能させる場合も含んでいる。30

【0016】

又、先の通信部11は、IEEE1394インターフェースであってもよく、ネットワーク上の外部機器からデジタルコンテンツを受けることが可能である。又、図示しない入力端部から、輝度信号や色差信号、コンポジット等の映像信号、音声信号を受けることも可能である。これらは、制御部30等で制御されるセレクタ16により、入力が制御されて、エンコーダ部21に選択的に供給される。

【0017】

エンコーダ部21は、セレクタ16により入力されたアナログビデオ信号やアナログオーディオ信号をデジタル化するビデオ用及びオーディオ用のアナログデジタルコンバータと、ビデオエンコーダと、オーディオエンコーダとを有する。更に、副映像エンコーダも含む。エンコーダ部21の出力は、所定のMPEG等の圧縮フォーマットに変換され、先の制御部30に供給される。40

【0018】

又、BS/CSアナログ/デジタルチューナ12等は、必ずしも内蔵されている必要はなく、データ入力端子を介して外付けされて、受信したデジタル信号をセレクタ部16を介してエンコーダ部21や制御部30に供給することも好適である。

【0019】

ここで図1の装置は、エンコーダ部21でエンコードされた情報(ビデオ、オーディオ、副映像データなどのパック)及び作成された管理情報を、制御部30を介してハードデ50

ィスクドライブ部18又は光ディスクドライブ部19に供給し、ハードディスクドライブ部18、又は、光ディスクDに記録することができる。又、ハードディスクドライブ部18や光ディスクDに記録された情報を、制御部30、光ディスクドライブ部19を介して光ディスクDやハードディスクドライブ部18に記録することもできる。

【0020】

信号編集部20により、ハードディスクドライブ部18や光ディスクDに記録されている複数番組のビデオ・オブジェクトを、一部削除したり、異なる番組のオブジェクトをつなげたり、といった編集処理を行うこともできる。

【0021】

- ・再生処理等

次に、主に記録された情報の再生処理について、他の実施形態も含めて詳細に説明する。MPEGデコーダ部23は、デコードされた主映像にデコードされた副映像を適宜合成し、主映像にメニュー、ハイライトボタン、字幕やその他の副映像を重ねて出力するビデオプロセッサを備えている。

【0022】

MPEGデコーダ部23の出力オーディオ信号は、セレクタ部17を介して図示しないデジタルアナログ変換器でアナログ変換されてスピーカに供給されるか、I/F部27を介して外部装置に供給される。セレクタ部17は、制御部30からのセレクト信号により制御される。これによりセレクタ部17は、各チューナ部12, 13からのデジタル信号を直接モニタする時、エンコーダ部21をスルーした信号を直接選択することも可能である。

【0023】

- ・予約録画処理

又、通信部11やチューナ12, 13から取得した電子番組情報に基づいて、予約録画部(番組表生成部)43によりユーザのリモコンR等の操作により特定した番組に応じて、録画予約処理が可能であると共に、取得した電子番組情報に基づく番組表を画面表示することが可能となる。又、予約された予約録画情報に基づいて、制御部30及び予約録画部43の働きにより、予約時刻になると、BS/CSデジタル/アナログチューナ部12又は地上波デジタル/アナログチューナ部13が受信した番組情報が復調された映像音声信号が、エンコーダ21等のエンコード処理を経て、例えば、ハードディスク部Hに記録(予約録画)される。

【0024】

この実施形態の放送記録装置10は、このように総合的な機能を有しており、複数のソースに対して光ディスクD又はハードディスク部Hによる記録・再生処理を行うものである。

【0025】

<本発明の一実施形態である放送コンテンツのリスト表示>

次に、本発明の一実施形態である放送コンテンツのリスト表示について、図面を用いて詳細に説明する。ここで、放送コンテンツのリスト表示機能とは、再生しようとする放送コンテンツに対して、保有する複数の放送コンテンツの中にこれから再生しようとする放送コンテンツに関連の放送コンテンツがあるか、具体的には、放送コンテンツが第5回のドラマであるとき、保有する複数の放送コンテンツの中に他の回のドラマの放送コンテンツが存在するかどうかを判断し、存在していれば、ユーザの指示を待たずにこの関連放送コンテンツのリスト表示を行い、指示を待つものである。

【0026】

以下、図面とフローチャートとを用いて詳細にその動作を説明する。本発明の一実施形態であるデジタルテレビジョンである放送記録装置10(上述のように、ハードディスクレコーダと考えることも可能)は、通信部11等から取得した電子番組情報に基づいて、予約録画部(番組表生成部)43により、非常に多くの放送コンテンツを自動的に予約録画することが可能であり、ハードディスクHに大量の放送コンテンツがユーザが十分に把

握できていない状態で保有されている場合が考えられる。

【0027】

このような状態でユーザは、保有する放送コンテンツを再生するべく、図2に示すような録画済放送コンテンツリストを表示するべく、図8のリモコンRや操作部32の操作を行なう(ステップS11)。制御部30は、操作信号を受けると、予約録画部43の記憶領域やハードディスク部Hに記憶している放送コンテンツの管理情報を取得しこれらに基づき表示信号を生成して音声映像処理部24に供給することでディスプレイ26には、図2に示すような録画済放送コンテンツリストを表示される(ステップS12)。この録画済放送コンテンツリストは、保有する放送コンテンツの一部を画面表示しているだけに過ぎず、ユーザは、全体にどれだけの放送コンテンツがあるかを十分理解することができない。

【0028】

しかしながら、ユーザは、ドラマ『北の村人(第5回)』に興味をもち、これをひとまず再生するべくリモコンRの操作をして、このドラマを特定し再生キーを押下する。これにより、制御部30は、この放送コンテンツの再生が指示されたことを認識する(ステップS13)。

【0029】

次に、制御部30は、関連コンテンツ制御部42と共に、この放送コンテンツの放送ジャンルを識別し、これが予め指定された所定ジャンルである『ドラマ』であることを認識し、以降の関連リスト表示工程に移行する(ステップS14)。なお、ここで放送コンテンツの放送ジャンルが例えば『ニュース』等のように予め指定された所定ジャンルでない場合は、制御部30及びハードディスクドライブ部18やMPEGデコーダ23の動作により、通常の再生処理がなされる(ステップS15)。

【0030】

又、ここで、放送コンテンツの放送ジャンルとは、上述した電子番組情報から自動的に取得した管理情報であることが好適である。又、放送コンテンツの放送ジャンルは、少なくとも『ドラマ』であることが好適であるが、必ずしもドラマに限らず、例えば、『アニメーション』等の連続性のある放送ジャンルであることが好ましい。しかし、ユーザのリモコンR等による操作によって、『スポーツ』等の特異のジャンルが追加設定されてもよい。又、ユーザの操作によって、ジャンル指定を解除することも好適である。

【0031】

ステップS14において、制御部30は、関連コンテンツ制御部42と共に、この放送コンテンツの放送ジャンルを識別し、これが予め指定された所定ジャンルである『ドラマ』であることを認識すると、関連コンテンツ制御部42と共に、図3に示すような指定された放送コンテンツに共通の放送コンテンツのリスト表示のための表示信号を生成して、ディスプレイ26に表示する(ステップS16)。図3において、先に再生を指定した『北の村人(第5回)』が選択表示されて表示され、同時に、それ以外の関連の放送コンテンツである『北の村人(第1回)』乃至『北の村人(第8回)』P1乃至P8が自動的に画面にリスト表示されるものである。

【0032】

ここで、ある放送コンテンツと他の放送コンテンツとの関連性の判断の基準であるが、一例として、「タイトル」、「録画曜日」、「録画時間」、「録画チャンネル」のそれぞれが全て一致していることが好適である。しかしながら、これらのうちの3つまで共通している等の多少の変形が同様に好適である。

【0033】

この図3のリスト表示において、更に、『第1回からの連続再生』P9等のアイコンを表示して、ユーザのアイコンの特定があれば(ステップS17)、制御部30及び関連コンテンツ制御部42の動作において、『北の村人(第1回)』乃至『北の村人(第8回)』P1乃至P8の記録順序に従った自動連続再生を行なうことが好適である。又は、例えば、ユーザ操作により特定された『北の村人(第3回)』P3等からの自動連続再生が行

なわれるものである（ステップS18）。

【0034】

なお、これ以外にも図4のように、既に第1回や第2回のドラマは視聴済み、それ以外は未視聴である場合等は、視聴状況を画面表示することが好適である。この場合、『第3回からの連続再生』を示すアイコンP10を表示することが好適であるが、単に『未視聴の放送コンテンツの連続再生』であってもよく、又、未視聴の放送コンテンツの領域について、色を異ならせる等のように、視聴を促す表示が可能である。

【0035】

このように、ユーザが単に、録画済放送コンテンツリスト表示（図2）から再生を指示するだけで、関連放送コンテンツのリスト表示（図3）が自動表示されるため、ユーザは全ての関連の放送コンテンツの状況を容易に理解することができるため、例えば、未視聴の第3回や第4回のドラマを視聴せずに、第5回のドラマを視聴してしまい、第3回や第4回のドラマに対して興味を半減してしまう等の不具合を回避することができる。

【0036】

又、更に、図7のフローチャートに示すように、保護フラグの自動的な付与処理が好適である。図6と図7のフローチャートは、ステップS11からステップS17までは共通しており説明を省略し、以降の処理だけについて説明を行なう。

【0037】

すなわち、図7のフローチャートのステップS17において、この図3のリスト表示に示すように、『第1回からの連続再生』P9等のアイコンを表示して、放送コンテンツの再生指示があれば（ステップS17）、図5に示すように、共通の放送コンテンツの全てを削除から保護するべく、保護フラグを設けるものである（ステップS21）。そして、指定された放送コンテンツから順番に連続再生する（ステップS18）。その後、再生したコンテンツの保護フラグを自動的に解除することが望ましいが、ユーザの指示を待って解除することであってもよい（ステップS22）。これにより、少なくともユーザの再生の意思があった放送コンテンツが、何らかの理由で削除されてしまうという不具合を自動的に回避するものである。

【0038】

以上記載した様々な実施形態により、当業者は本実施形態を実現することができるが、更にこれらの実施形態の様々な変形例を思いつくことが当業者によって容易であり、発明的能力をもたなくとも様々な実施形態へと適用することが可能である。従って、本発明は、開示された原理と新規な特徴に矛盾しない広範な範囲に及ぶものであり、上述した実施形態に限定されるものではない。

【図面の簡単な説明】

【0039】

【図1】本発明の一実施形態に係る放送記録装置の構成の一例を示すブロック図。

【図2】同じく放送記録装置が保有している放送コンテンツのリスト表示の一例を示す説明図。

【図3】同じく放送記録装置が保有している放送コンテンツのリスト表示の一例を示す説明図。

【図4】同じく放送記録装置が保有している放送コンテンツのリスト表示の一例を示す説明図。

【図5】同じく放送記録装置が保有している放送コンテンツのリスト表示の一例を示す説明図。

【図6】同じく放送記録装置が行なうリスト表示処理の一例を示すフローチャート。

【図7】同じく放送記録装置が行なうリスト表示処理（保護フラグ）の一例を示すフローチャート。

【図8】同じく放送記録装置を操作するためのリモコン装置の一例を示す説明図。

【符号の説明】

【0040】

10

20

30

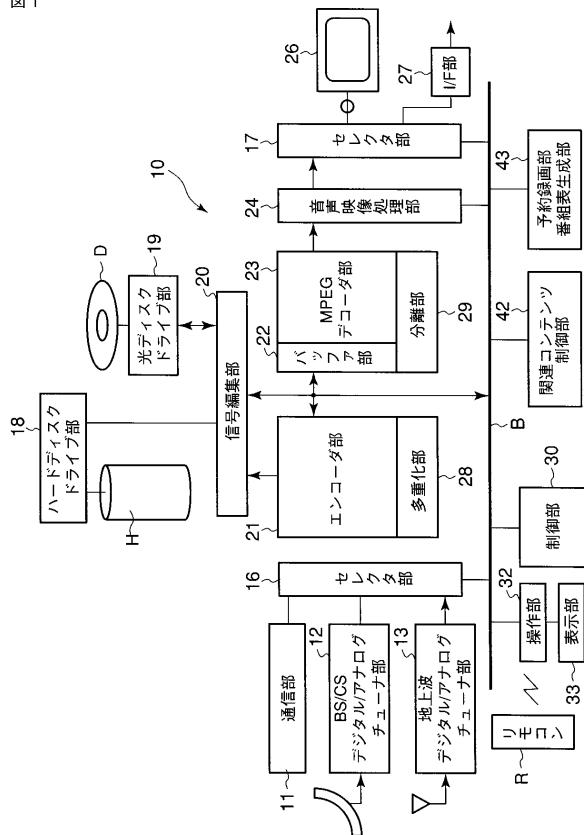
40

50

11...通信部、12...B/S/C/Sデジタル/アナログチューナ部、13...地上波デジタル/アナログチューナ部、19...光ディスクドライブ部、20...信号編集部、21...エンコーダ部、22...バッファ部、23...MPEGデコーダ部、24...音声映像処理部、26...ディスプレイ、27...I/F部、28...多重化部、29...分離部、30...制御部、32...操作部、33...表示部、R...リモコン、42...関連コンテンツ制御部、43...予約録画部・番組表生成部。

【図1】

図1



【図2】

図2

番組ナビ																																																													
実行																																																													
<table border="1"> <tr><td>北の村人</td><td>第5回</td><td>031</td><td>10/20(土)22:00~23:00</td><td>ドラマ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>✓</td><td>水曜シネマ劇場</td><td>[編集]</td><td>BS101</td><td>11/18(火)19:00~20:00</td><td>映画</td><td></td></tr> <tr><td>✓</td><td>歌うたい星人・スペシャル</td><td></td><td>BS151</td><td>11/19(火)21:00~23:00</td><td>音楽</td><td></td></tr> <tr><td>✓</td><td>MTSBミュージックアワード</td><td></td><td>SP456</td><td>11/19(火)23:00~23:55</td><td>音楽</td><td></td></tr> <tr><td>✓</td><td>タイムライスケーター</td><td></td><td>041</td><td>11/22(土)16:55~18:49</td><td>スポーツ</td><td></td></tr> <tr><td>✓</td><td>冥王星ドカン</td><td></td><td>L1</td><td>11/22(土)18:05~20:00</td><td>アニメ</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>世界の社会から</td><td></td><td>031</td><td>11/23(日)21:00~23:00</td><td>新規</td><td></td></tr> <tr><td>✓</td><td>ミュージックアワード2004</td><td></td><td>SP456</td><td>11/24(月)20:00~20:30</td><td>音楽</td><td></td></tr> </table>						北の村人	第5回	031	10/20(土)22:00~23:00	ドラマ			✓	水曜シネマ劇場	[編集]	BS101	11/18(火)19:00~20:00	映画		✓	歌うたい星人・スペシャル		BS151	11/19(火)21:00~23:00	音楽		✓	MTSBミュージックアワード		SP456	11/19(火)23:00~23:55	音楽		✓	タイムライスケーター		041	11/22(土)16:55~18:49	スポーツ		✓	冥王星ドカン		L1	11/22(土)18:05~20:00	アニメ			世界の社会から		031	11/23(日)21:00~23:00	新規		✓	ミュージックアワード2004		SP456	11/24(月)20:00~20:30	音楽	
北の村人	第5回	031	10/20(土)22:00~23:00	ドラマ																																																									
✓	水曜シネマ劇場	[編集]	BS101	11/18(火)19:00~20:00	映画																																																								
✓	歌うたい星人・スペシャル		BS151	11/19(火)21:00~23:00	音楽																																																								
✓	MTSBミュージックアワード		SP456	11/19(火)23:00~23:55	音楽																																																								
✓	タイムライスケーター		041	11/22(土)16:55~18:49	スポーツ																																																								
✓	冥王星ドカン		L1	11/22(土)18:05~20:00	アニメ																																																								
	世界の社会から		031	11/23(日)21:00~23:00	新規																																																								
✓	ミュージックアワード2004		SP456	11/24(月)20:00~20:30	音楽																																																								
◀ 前	クリア	リスト先頭	番組リストグループ選択	番組予約一覧切換	番組表で確認	② 次 ▶																																																							

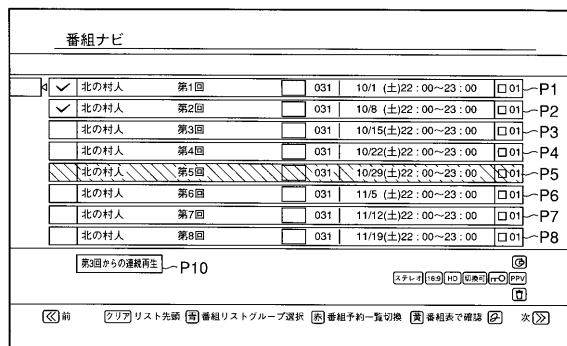
【図3】

図3

番組ナビ						
実行						
北の村人	第1回	031	10/1 (土)22:00~23:00	□01	-P1	
北の村人	第2回	031	10/8 (土)22:00~23:00	□01	-P2	
北の村人	第3回	031	10/15(土)22:00~23:00	□01	-P3	
北の村人	第4回	031	10/22(土)22:00~23:00	□01	-P4	
北の村人	第5回	031	10/29(土)22:00~23:00	□01	-P5	
北の村人	第6回	031	11/5 (土)22:00~23:00	□01	-P6	
北の村人	第7回	031	11/12(土)22:00~23:00	□01	-P7	
北の村人	第8回	031	11/19(土)22:00~23:00	□01	-P8	
第1回からの連続再生						
P9						
◀ 前	クリア	リスト先頭	番組リストグループ選択	番組予約一覧切換	番組表で確認	② 次 ▶

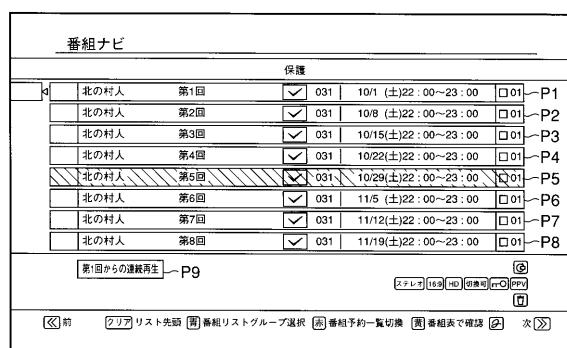
【図4】

図4



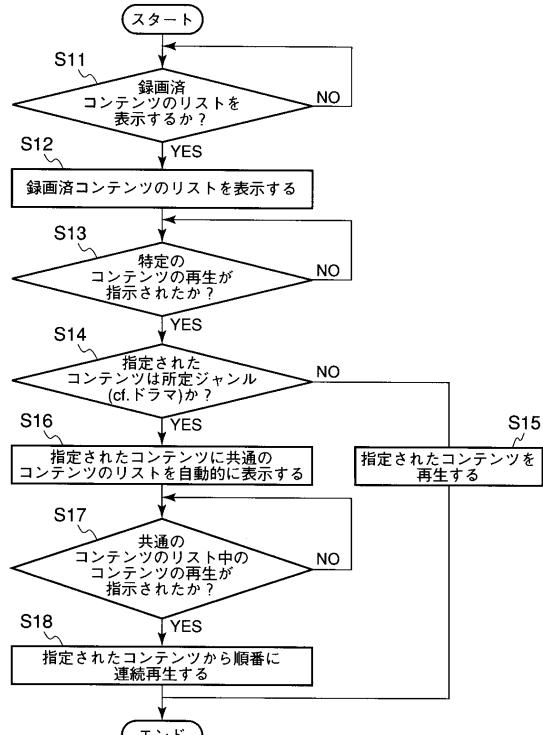
【図5】

図5



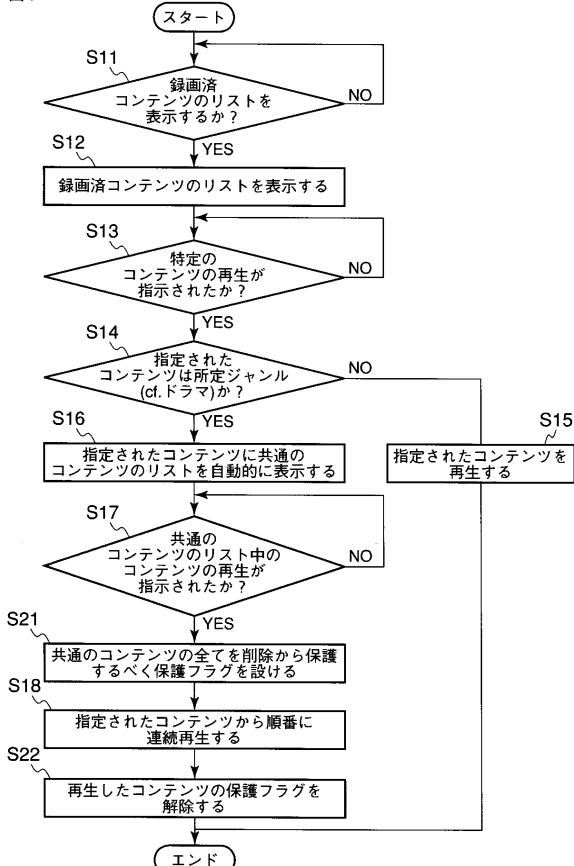
【図6】

図6



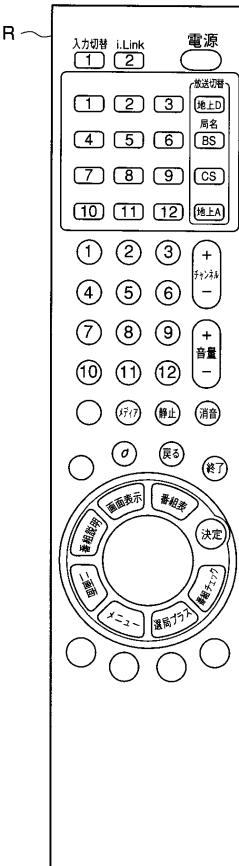
【図7】

図7



【図8】

図8



フロントページの続き

(74)代理人 100084618

弁理士 村松 貞男

(74)代理人 100092196

弁理士 橋本 良郎

(72)発明者 北村 高志

埼玉県深谷市幡羅町一丁目9番地2 株式会社東芝深谷映像工場内

F ターム(参考) 5C052 AA01 AB04 DD04

5C053 FA23 FA24 GB06 JA21 JA22 LA06 LA07

5D110 AA13 AA14 AA27 AA29 BB06 CB07 DA03 DA06 DA17 DE01

FA08